

福祉サービス第三者評価結果

事業所名	情和園デイサービスセンター
------	---------------

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

福祉サービス評価センターおおいた

②第三者評価実施期日

平成30年1月16日

③事業者情報

名 称： 情和園デイサービスセンター	種 別： 通所介護
代表者氏名： 理事長 土師壽三	定員（利用人数） 50名
所在地：〒879-5406 由布市庄内町西長宝870-1	
TEL：097-582-1717	

④総評

◇評価の高い点

- ・法人の理念や基本方針は、パンフレットや定期的に配布する広報誌、ホームページ、事業計画書などに掲載され、全職員に周知され、日々のケアの中で活かされる仕組みとなっている。
- ・経営状況は、今年度は、5年に一度の介護保険制度の見直しの時期であり、管理者は、事業経営をとりまく環境や経営状況が的確に把握できており、分析もされている。事前に経営環境もいち早く整え、人事管理の体制づくりが整備されている。
- ・定期的に県社協の第三者評価を受審され今回で3度目である。また、定期的に広報誌を作成し地域広範囲に配布している。
- ・管理者は、リーダーシップを発揮し、いち早く新情報をつかみ全職員に 情報を伝えている。先駆的な取り組みを行っている。
- ・法人の代表は、先駆的な取り組みを試み、管理者として、リーダーシップを発揮し、専門職としての人材を育成している。また、管理者は、福祉人材の育成に積極的である。当法人のホームページのインターネットに「奨学金制度」を掲載している。
- ・運営の透明性として、経営状況を分析し、改善点の把握に努めている。
- ・地域との交流を高めるために、広報誌に「こんにちは街かど相談所」の欄を設け、広範囲に配布している。
- ・地域住民のこまりごとの相談所としていつでも相談できるように、「薬局」 との連携も行われている。
- ・通所・介護計画書を詳細に記載して、身体機能や精神的な安定が図られるような取り組みが行われている。
- ・広報誌を年4回発行して地元のスーパーへの掲示や新聞に折り込みを行いサービスの内容などの情報を積極的に発信している。

- ・送迎やレクリエーション内容、入浴や食事へのサービス内容、機能訓練についてなどの意向調査を年一回行っている。収集された結果に基づいて検討会議を行い改善が図られており、満足度向上に向けての取り組みに余念がない。
- ・緊急時対応マニュアルが整備されており、事故報告書は発生者が作成し、重大事故は即日に検討会議が行われている。あんしん対策レポートは状況や事故発生の原因など詳細に記録され、リスクマネジメント委員会が集計を行っている。
- ・入浴や排泄、食事など各サービスの実施内容についてのマニュアルが整備されており、初任者研修を受けて入社するなど質の確保に余念がない。また、何を指導したかについてのチェックシートが活用されており、日頃のサービスの確認が行われている。
- ・アセスメントは独自のものを使用しており、アンケートにより一人ひとりに応じた過ごし方ができるように配慮されている。干支の編み物など、作業療法にも工夫がなされている。
- ・アセスメントに基づいて、難聴の方には筆談、全盲の方には配置の声掛け、理解力が低下した方には状況に応じたゼスチャーなどで個別性のあるコミュニケーションを図っている。
- ・入浴サービス手順を整備しており、利用者の状態に応じた入浴方法が行えるよう設備を整えている。入浴前は看護師によりバイタルチェックが行われ、体調に応じて清拭に移行するなど清潔保持が行われている。入浴後は水分摂取を促すため、利用者の好みを選択できるなど工夫が行われている。
- ・入浴時や排泄時に皮膚の状態観察を行っている。また、姿勢や栄養摂取などにも留意しており褥瘡の発生予防を行っている。褥瘡の発生時には写真を撮って経過を確認している。
- ・炊飯の香りを大切にしており、フロアでご飯を炊いて香りを漂わせて喜ばれている。好きな料理や苦手な料理など年一回の嗜好調査のほか、随時口頭での聞き取りが行われており、給食会議で検討が行われ献立に反映されている。また、希望者にはしょうゆやマヨネーズ、ポン酢など多様な調味料が用意されている。
- ・口腔機能を維持するため食前には口腔体操を行っている。口腔ケアは個人の好みの歯ブラシを持参しており、自宅でも継続できるように指導を行っている。
- ・認知症の理解を深めるために法人内の学習会や外部の研修を積極的に行っており、最新の知識や対応技術を高めるための職員への研鑽に余念がない。
- ・ロッカーを用意しており利用者の荷物へのこだわりにも個別的に対応している。また、危険物は利用者の手の届かないところに安全に管理されている。
- ・支援計画書に基づき利用者の状態にあった体操などの訓練や活動を行っている。

訓練には医師からの医療における情報収集を行い安全性にも配慮している。

・利用者にはサービス提供時にバイタルチェックを行い体調を確認している。体調不良時には介護支援専門員や家族に連絡を行い適切に対応している。ステーションや送迎の車両にも利用者や医療機関の連絡先一覧を携帯しており早急に対応ができる体制を整備している。

・感染対策のマニュアルを整備しており、時期に合った感染症に関する研修を行い感染対策を行っている。感染症予防のため、玄関やフロア内に多数の手洗い場を設置しており、口腔ケアと手洗いの洗面台など使用意図を分けて感染症や食中毒の感染予防を徹底している。

・設備の点検や異常時の対応など専門の営繕担当が早急に対応している。また、塗り絵など利用者の意向に沿って思い思いの時間を落ち着いて過ごせるように各テーブルで同じ活動を行っている。

・日頃の送迎時に家族との情報交換を行っている。また、関係機関や家族等と情報共有が必要な利用者に対しては連絡帳を活用している。介護支援専門員とも連携を図り利用者や家族の状況を把握している。

◇改善を求められる点

特になし

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

・平成26年6月末に、新設の建物へ引越し、洗面所・トイレ・浴室等の使い勝手の良さや転倒リスクの改善、利用者・職員の導線に配慮した設計になっており、ハード面においては恵まれている。

・サービスの提供については、ご利用者の心身状態や思いに添った利用者本位の支援を行い、またレクリエーションやクラブ活動を通し、楽しみながらご利用者の保有能力を活かし、自立に向けての力が引き出せるよう工夫している。

・ご利用者は、和気あいあいとしたアットホーム的な環境の中、生き生きとした表情をされている。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果（別紙）